

日本語版 バージョンアップ履歴

発行日：2022年11月9日

作成：TCO2株式会社

リリース JP9.4.0.2

日付：2022/11/9

今回のバージョン：JP 9.4.0.2

以前のバージョン：JP 8.1.1.22

◆データベースに関する変更点

- ・ SimaPro 9.0.0 互換のデータベースがインストールされます。
- ・ ecoinvent v3.5、Agri-Footprint v4.0 のデータベースに対応しました。
- ・ Industry Data2.0 のプロセスデータが追加されました。
- ・ Worldsteel のプロセスデータが修正されました。
- ・ EF method (adapted), EPD (2018), Environmental Prices, Cumulative Energy Demand (LHV))の影響評価手法が追加されました。
- ・ Cumulative Energy Demand, ReCiPe 2016, AWARE の影響評価手法を更新しました。
- ・ Ecoinvent の EULA が更新され、利用するに当たっては EULA への再同意が必要となります。

◆ソフトウェアに関する変更点

- ・ データベース形式が SimaPro9 形式に変更となりました。SimaPro8 で利用していたデータベースを開きますと SimaPro9 形式に変換が行われます。変換時に自動的にバックアップコピーがされます。
- ・ データロードを高速化し、複数のバグが修正されました。

◆その他の注意事項

- ・ 2022年11月1日以降の有効なサービス契約を持つ方が本バージョンをインストール

することができます。

- ・ SimaPro9形式に変換されたデータベースはSimaPro8では開くことが出来なくなりますのでご注意ください。
- ・ SimaPro 9 より、日本語への翻訳は、プロセス名、カテゴリ名に限られます。物質名やマニュアル、データベースのドキュメンテーション等は翻訳されません。
- ・ SimaPro 9 は以前のデータベースをアップグレードする形でのインストールではありません。SimaPro8 と SimaPro9 は別々のデータベースとしてご利用いただく形となります。
- ・ プログラムだけが更新され、データベースがインストールされない場合にはサポート (LCA@tco2.com) までご連絡ください。

リリース JP 8.1.1.22

日付 : 2016/6/15

今回のバージョン : JP 8.1.1.22

以前のバージョン : JP 8.1.1.20

◆ソフトウェアに関する変更点

- ・ プロセス作成時、アウトプットに物質を選択出来ないバグを修正しました。

リリース JP 8.1.1.20

日付 : 2016/3/1

今回のバージョン : JP 8.1.1.20

以前のバージョン : JP 7.3.2.9

◆データベースに関する変更点

- ・ SimaPro 8.0.5 互換のデータベースがインストールされます。
- ・ ecoinvent v3.1、Agri-Footprint v1 のデータベースに対応しました。

- ・ 欧州環境フットプリントの影響評価手法が追加されました。
- ・ 水に関する 5 つの影響評価手法が追加され、ウォーターフットプリントが計算できます。

◆ソフトウェアに関する変更点

- ・ 行列エンジンがバージョンアップし、計算速度が向上しています。(ただし、ecoinvent v3.1 では計算対象に含まれるプロセス数が増えているため、計算結果の取得はecoinvent v2.2 よりも遅くなります。)
- ・ プロセスを ILCD フォーマットでエクスポートできるようになりました。方法の詳細に関しては、サポート (LCA@tco2.com) へお問い合わせください。

◆その他の注意事項

- ・ 2015 年 12 月 1 日以降の有効なサービス契約を持つ方が本バージョンをインストールすることができます。
- ・ SimaPro 8 より、日本語への翻訳は、プロセス名、カテゴリ名、一部マニュアル類及びヘルプに限られます。物質名やデータベースのドキュメンテーション等は翻訳されません。
- ・ SimaPro 8 は以前のデータベースをアップグレードする形でのインストールではありません。SimaPro 7 と SimaPro 8 は別々のデータベースとしてご利用いただく形となります。
- ・ プログラムだけが更新され、データベースがインストールされない場合にはサポート (LCA@tco2.com) までご連絡ください。

リリース JP 7.3.2.9

日付 : 2011/10/7

今回のバージョン : JP 7.3.2.9

以前のバージョン : JP 7.3.0.21 rev1

◆データベースに関する変更点

日本語版に関して、変更箇所は特にありません。

◆ソフトウェアに関する変更点

- SimaPro のデスクトップ用のアイコンが新しくなりました。
- COM インターフェイス、Ecospold インポートなどにおける各種バグの修正しました。
- マルチユーザー版で、管理者は「Shift + DEL」キーでハングしているユーザーのセッションを強制終了させることができるようになりました。

◆マニュアルに関する変更点

- プロセス名を整合させるなど、チュートリアルの不具合を修正しました。

リリース JP 7.3.0.21 rev1

日付 : 2011/5/13

今回のバージョン : JP 7.3.0.21 rev1

以前のバージョン : JP 7.3.0.21

◆データベースに関する変更点

物質名の変更

変更箇所 1 か所。

水域への排出 マンガン[kBq] ⇒ マンガン 55[kBq]

プロセス名の変更

ecoinvent unit process:

プロセス名の接尾辞が/S で終わる形で、ecoinvent system プロセスの名称と重複する箇所が 22 プロセスについてあったため、それらの接尾辞を/U へ変更しました。なお、これらのプロセスについてはデータの提供元からの unit process 情報は非公開での取り扱いのため、system プロセスと同じ内容となっています。

LCA Food :

プロセス名称重複の解消 1 か所。

鶏肉 ⇒ 家禽肉

ウィザードの変更

変更箇所 4 か所

指定された影響評価手法が英語版と違う箇所を修正。

リリース JP 7.3.0.21

日付 : 2011/4/25

今回のバージョン : JP 7.3.0.21

以前のバージョン : JP 7.1.8

以前のバージョンから、今回リリースされたバージョンまでの更新内容を記します。

◆ソフトウェアに関する変更点

新登録システム

SimaPro 日本語版 7.3 では SimaPro を不正使用より保護するために、新しい登録/アクティベーションシステムを実装しました。SimaPro 日本語 7.1 の登録名とコードは、このアップデートで使用することはできません。有効なサービス契約を交わしている全てのユーザは、新しい登録名とコードを e-mail で受け取ることとなります。コピー&ペーストする必要があるため、新しい登録名とコードのバックアップとして、E-mail の保存をお願いいたします。

新アクティベーションシステム

SimaPro 日本語版の使用許諾契約書にも記載されていますが、ユーザライセンスごとに 1 つのインストレーションが許可されています。新しいアクティベーションシステムではより厳しくこの規定を管理し、実際にユーザライセンス毎に 1 つのインストレーションのみを許可します。

新データベースフォーマット

SimaPro 日本語版 7.3 の新しいデータベースシステム (Nexus 2) は新オペレーティング

システムでのパフォーマンスが向上し、さらにマルチユーザ設定において高速になりました。SimaPro 日本語版 7.3 では、データベースはこの新しいフォーマットに変換される必要があります。SimaPro 日本語版 7.1 データベースは SimaPro 日本語版 7.3 でデータベースを開くと同時に自動的に SimaPro 日本語版 7.3 フォーマットに変換されます。

「長期的な排出を除外」オプション

計算のセットアップと計算結果に新しいオプションが追加されました。「長期排出の除外」オプションを選択すると、「long term」を含むサブコンパートメントの全ての物質が計算結果より除外されます。

「トッププロセスのみを表示」オプション

ネットワークビューに新しいオプションが追加されました。「トッププロセスのみを表示」ボタンは製品ステージでのみ機能し、全ての製品ステージに加え、元となるプロセスの最初の階層を表示するネットワークを生成します。

「SimaPro データベースをインポート」の強制バックアップ機能

強制バックアップは SimaPro データベースをインポートする際に行われます。これにより、インポート時に問題が発生し、データを損失する、または、誤って独自のデータを上書きしたとしても、強制的なバックアップによりデータが保護されます。

COM インターフェース

新しい機能が COM インターフェースに追加されました。詳しくは COM プログラミングマニュアルをご覧ください。

セキュリティの強化 : 「全プロジェクトのデータを表示」の無効化

「全プロジェクトのデータを表示」ボタンを無効化することができるようになりました。生徒同士が、他の生徒の作業内容を見ることができなくなるので、これは特に SimaPro クラスルームバージョンにおいて便利です。[ツール]メニューから[ユーザ管理]、[ユーザタイプ]を選択し、「編集」を選択し、ボタンをユーザタイプごとに有効化/無効化できます。

64 ビットオペレーティングシステムのサポート

SimaPro 日本語版 7.3 は 64 ビットのオペレーティングシステムで最大 4GB の RAM を使用することができます。これは特に膨大かつ複雑なモデルを計算する際に便利です。

注：オペレーティングシステムとその他プログラムに必要なメモリは除外しています。4GBの最大値を使用するには6GBのRAMのインストールが必要となります。

デモバージョンでのecoinventの取り扱い

SimaPro デモバージョンのデータベースには、ecoinvent のすべてのユニットプロセスと100のシステムプロセスが格納されています。ただし、100プロセスのみがフルプロセスを照会できるという制限があります。残りのプライベートプロセスに関しては、ドキュメンテーションのみ照会できます。結果を計算する際、SimaPro は結果の合計と非プライベートプロセスの中間結果を表示しますが、プライベートプロセスの中間結果は表示されず、グレー表示となります。

解析：Excelでパラメータ化されたシナリオ分析（デベロッパーバージョンのみ）

計算設定では、シナリオモデルのパラメータ範囲の値を定義している表計算ソフトへすぐにリンクすることができます（パラメーターセット）。SimaPro は自動的にパラメータ名と対応する値を読み取り、計算でこれらの値を使います。この複雑なモデルのシナリオ計算の高度な自動化により、手動で各パラメータの値を入力する必要はありません。加えて、SimaPro はパラメータ名の正確性と独自性に関して広範囲なチェックを行い、入力ミスによる間違いを回避することができます。この機能はMS Excelでのみ機能し、SimaPro デベロッパーバージョンでのみ使用することができます。

データ検索の新しいフィルター

プロセスや製品ステージ物質の一覧画面に追加された新しいフィルターは、検索とデータ選択をより簡単にします。あなたが探しているものの名前の一部を入力するだけで、SimaPro が選択されたカテゴリ内で対応するデータを表示します。ブール検索(And/Or)が可能のため、“ベンゼン”と“クロロ”と入力することで全ての塩化ベンゼン化合物を見つけることができます。

計算設定でのライブラリ置換

今までにEcoinventのシステムプロセスでモデルを作成して、Ecoinvent ユニットプロセスで提供されるような詳細な情報を見てみたいと思ったことはありませんか？

新しいライブラリ置換では、LCAモデルの他のライブラリ内の類似する名前の1つのライブラリからプロセスを置換することができます。これは動作中に起こりますので、あなたのモデルを変更することなく実行できます。プロセス名の拡張子（UやSのような）が自動的に認識されますが、必要に応じて変更することもできます。

ecoinvent レポートをヘルプに格納

SimaPro ユーザはヘルプメニューを介して全ての Ecoinvent レポートにすぐアクセスすることができます。これは、プロセスのバックグラウンド情報を探すために赤い Ecoinvent CD-ROM を毎回使用する必要がないということです。

資料文献からドキュメントへの直接リンク

各参考文献では、ドキュメントへのリンクをすぐに追加することができます。参考文献のフィールドで右ボタンを使用して、編集と表示モードの両方でプロセスからこの文書を開くことができます。お客様へより良いサービスを提供するため、私たちはすでに全 Ecoinvent レポートへのリンクを追加しています。

非質量単位材料のチェック機能の向上

過去のバージョンで、非質量単位 (m²、p、m³のような) や廃棄物タイプで定義される材料プロセスが製品ステージで使用される廃棄物シナリオの計算に含まれることを判明しました。これは誤った計算結果につながります。SimaPro7.3 では今後は、非質量単位を有する材料に廃棄物タイプを追加することはできません。SimaPro7.3 はこのような状況が発生するプロセスでは廃棄物タイプを自動的に削除します。また、非質量単位の材料を使用してモデルを計算するときに警告が表示されます。

データ品質インジケータ (DQI) システムの削除

データ品質インジケータ (DQI) システムは全ライブラリの正しく定義された DQI フィールドが存在するという前提に基づいていますが、実際には、このことは不可能なものであるということが証明されました。そこで DQI 要件と重みを定義することができる DQI システムを加えて、プロセスの概要およびネットワーク/ツリープロセスに対応する DQI 結果を削除することを決めました。DQI フィールド自体は、各プロセスの[ドキュメント]タブで見られるように、そのまま残ります。

◆データベースに関する変更点

ライブラリについて

ライブラリについては以下変更がありました。

新たに追加されたライブラリ :

- ecoinvent v.2.2 (system processes)
- ecoinvent v.2.2 (unit processes)
- ELCD
- Industry data 2.0
- USLCI
- Dutch Input Output Database 95
- EU & DK Input Output Database

今後以降のリリースには含まれず、利用が推奨されないライブラリ :

以下のライブラリについては、整理や統合に伴い、今後の新しいリリースには含まれないと同時に、古いデータが存在するため、その利用も推奨されておられません。

- BUWAL 250
- IDEMAT 2001
- ETH-ESU 96
- Franklin USA 98
- Date Archive
- Industry data

影響評価手法

影響評価手法については以下の変更がありました。

新たに追加された手法 :

- CML 2001 (All Impact Categories)
- Ecological Scarcity 2006
- EDIP 2003
- EPD 2008
- IMPACT 2002+
- ReCiPe Endpoint (E)
- ReCiPe Endpoint (H)
- ReCiPe Endpoint (I)
- ReCiPe Midpoint (E)
- ReCiPe Midpoint (H)

- ReCiPe Midpoint (I)
- BEES
- TRACI 2
- Cumulative Exergy Demand
- Ecological Footprint
- Eco System Damage Potential
- Green House Gas Protocol
- IPCC 2007 GWP 100a
- IPCC 2007 GWP 20a
- IPCC 2007 GWP 500a
- Selected LCI Results
- Selected LCI Results, additional

手法の修正：

日本の影響評価手法 Jepix / Lime1 の変更の詳細については、「日本語版データベースのご利用方法」をご参照ください。日本の影響評価手法以外の手法の変更点についてはそれぞれの手法のドキュメンテーションを参照してください。

旧バージョンの手法：

古い手法については「手法 / 旧バージョン」以下に配置されています。

- CML 1992
- Ecoindicator 95
- Ecopoints 97(CH)
- EDIP/UMIP 97
- EDIP/UMIP 97 (resources only)
- EPD 2007 (draft version)
- IPCC 2001 GWP 100a
- IPCC 2001 GWP 20a
- IPCC 2001 GWP 500a
- TRACI

以上

